

サラダ館通信

葛飾区お花茶屋駅近くのギフトショップ、サラダ館白鳥店のニュースレター。



VOL.002

自己紹介

こんにちは、サラダ館白鳥店です。前回第号をお中元カタログと一緒に配らせていただいたところ、「読んだよー」「八広にいたんだってっ!」などのお言葉をいただいております。

そこで今回からスタッフ一人ずつの自己紹介をさせていただきます。

第一回はこのサラダ館新聞を作っている張本人、大木弘(おおぎ かつひろ)です。

両親は社長(父)と店長(母)。大学を出てから、約二年某家電量販店に勤めた後店に入りました。お店がオープンしたのは小学校五年の時で、八時閉店のお店なので二歳上の姉との夕飯当番がこの時から始まりました。おかげで今でも自分が食べる分くらいは料理ができるようになりました。

お店では一般の業務の他、出産内祝用の赤ちゃんの写真入りカードやカレンダーを作ったり、オリジナルのチラシ作り、ホームページ・ネットショップの作成と運営などデジタル全般は私の担当です。

最近では葛飾酒作り本舗に入会して、店でも扱っている「日本酒・葛飾の花」作りに農作業をしたり、色々な交流会に出て知り合った方と地域のイベントに関わるが増えています。毎年9月にある産業フェアでは「中小企業家同友会葛飾支部」のブースにいます。これからも地域の方と関わる機会が多くなると思いますので、ごいっかでお会いした時はごついでよろしくお願ひします。

かつひろ



酒作りの現場をお伝えします。

日本酒・葛飾の花作りは酒米「美山錦」作りが順調に進んでいます。五月二十四日に田植え、七月十二日に草取りツアーがありました。残念ながらお中元のため草取りは行けませんでしたが、田植えのレポートをしたいと思います。



四月に種時をした苗は立派に育っていました。苗床にびっしり根を張っている苗をちぎって本位の束で植えていきます。



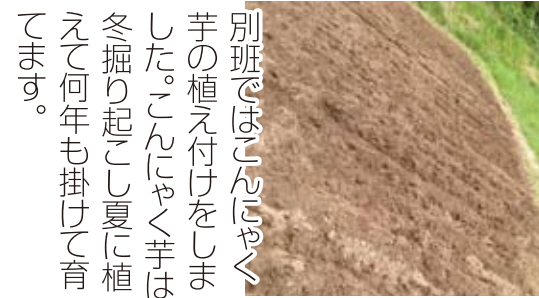
田んぼには生き物がたくさん。蛙の他にどじょうや「げんごろう」など。小学生くらいの子は楽しそうに遊んでいます。



九反ある田んぼのうち手植えするのは二反。他は農家の方が一人で機械を使って一気に植えます。



まつすぐ等間隔に植えないと稲刈りでバインダーという機械で刈り取れないため目印が付いた紐を使って全員が一斉に植えていきます。



別班ではこんにゃく芋の植え付けをしました。こんにゃく芋は冬掘り起こし夏に植えて何年も掛けて育てます。



作業の後はサナブリという宴会です。地元のご馳走が並びます。楽しみながら一生懸命育てた米が葛飾の花になるのが楽しみです!